

平成23年度

坂町教育委員会事務点検・評価報告書

坂町教育委員会

## 目 次

教育委員会の点検・評価制度の概要	1
評価委員の点検・評価	2
教育委員会の活動状況及び活動概要	6
点検評価の結果	
道徳教育の充実を図る	1 1
学校施設の耐震化等を推進する	1 2
確かな学力の向上を図る	1 3
不登校対策を充実する	1 4
外国語活動の充実を図る	1 5
学習機会の提供に努める	1 6
図書館の活用の増進に努める	1 7
生涯スポーツの普及に努める	1 8
町史の編さんに取り組む	1 9
資料 1 平成 2 3 年度坂町教育委員会 経営計画	2 0
資料 2 平成 2 3 年度坂町教育委員会 自己評価表	2 2

## 教育委員会の点検・評価制度の概要

### 1 点検評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条により、教育委員会は平成20年4月から毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に報告するとともに、公表することが義務付けられました。

この報告書は、同法の規定に基づき、坂町教育委員会が行った点検評価の結果をまとめたものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 対象年度

平成23年度

### 3 点検評価の対象事業

点検・評価の対象は、坂町第4次長期総合計画(平成22年度～平成31年度)の基本計画に位置付けられている道徳心の高揚、教育環境の充実、生涯学習・スポーツの振興及び文化活動の振興の4事業で、平成23年度教育行政方針において、重要施策として位置付けて実施した9事業(別紙資料参照)について点検評価を実施しました。(別紙資料1・2参照)

### 4 点検評価の方法

点検評価にあたっては、評価指標等を設定し、次頁の表のとおり4段階の評価としました。

区分	内 容
A	目標は十分達成された。
B	目標は達成された。
C	目標は達成できなかった。
D	目標は全く達成できなかった。

なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づく、「教育に関し学識経験を有する知見の活用」に関しては、広島大学大学院教育学研究科の教授 林 孝先生からご意見、ご助言をいただきました。

## 5. 評価委員の点検・評価

平成 22 年度から、坂町第 4 次長期総合計画に基づく中期経営目標のもと、それに対応する教育行政方針を短期経営目標として設定してきている。

平成 23 年度においても、教育委員会事務点検・評価の重点化がより一層図られて、また、数値目標に基づく量的な指標による評価が徹底されている。また、点検・評価項目は大きく「学校教育」「生涯学習」の 2 領域において精選された各 4 項目から実施され、教育委員会が重点的に集中する施策がみえてくれる。大きく 2 領域に分けて記述していきたい。

### (1) 「学校教育」をめぐって

「道徳心の高揚・道徳教育の充実」では、平成 22 年度の実績値を上回っている。目標値に届いていない 7 月から翌 2 月には目標値に届き、また、特定の学年における評価結果が全体の評価結果を引き下げる結果となっているものの、評価結果は妥当といえる。次年度以降に向けて、7 月から翌 2 月における取組と成果の関連についての考察に基づき、坂町独自の有効な手立ての特定・集中すべき取組について検討いただきたい。なお、指標として取り上げる「道徳の時間が好き」の割合であるが、道徳の時間の展開を中心に学校の教育活動全体を通じて取り組む道徳教育であることに鑑み、今後、道徳的実践、すなわち、人間尊重の精神に基づく行動を図る指標を検討し、学校における取組とともに、家庭や地域を巻き込むことも視野に入れた取組を教育委員会として進めて欲しい。

「教育環境整備の推進・学校施設の耐震化等の推進」では、計画的に取組が進捗し「目標は十分達成できた」との自己評価結果は妥当と判断できる。学校施設の適切な維持管理に今後も引き続き、関係機関の動向に注視し、首長部局との綿密な摺り合わせのもと、児童生徒のための教育環境の整備に努めていただき、教育内容では、環境教育の充実にも期待したい。

「教育活動の充実」では、「確かな学力の向上」「不登校対策の充実」とともに「目標は達成できなかった」との自己評価結果である。昨年度の点検・

評価において、「確かな学力の向上」の評価指標は年度によって特定される  
ところであり、「平成 22 年度対象児童生徒に特有の傾向ではなく、学力向  
上の取組施策の反映された成果であるのか検証を積み重ねていただきたい  
」と指摘した。平成 23 年度の成績結果が悪いものとは考えられない。そ  
の点では、評価指標の目標値に関する妥当性の検討が必要とされる。一方、  
「不登校対策の充実」においても取組・方策は取られているものの、昨年  
度に比して中学校での結果が思わしくない。この点では小中連携などの取  
組も含め、取組・対策の検証を進めていただきたい。これらの検証によっ  
て、継続すべき取組や改革・改善すべき取組を明らかにして、今後の取組  
施策への展望を開き、それに係る財政的な裏付けが得られるようにして、  
首長部局により一層積極的にアピールしていただきたい。

「国際理解の推進・外国語活動の充実」では、平成 22 年度から日本人講  
師と担任との T・T による外国語活動に取り組み、「目標は十分達成できた」  
との自己評価結果を得ている。平成 23 年度の目標値は、実績値(平成 22 年  
度)に比して大幅に上回っている。評価指標の「外国語活動の時間が好き」  
の割合であるが、今後、小学校における「外国語活動の充実」が中学校で  
の教科「外国語(英語)」への接続にどのような効果をもたらしているのか  
を検証して、坂町独自の取組として提案していただけるよう、引き続いて  
平成 24 度においても学校現場を支援する施策展開に期待したい。

## (2) 「生涯学習」をめぐって

「生涯学習の推進・学習機会の提供」では、昨年度の点検・評価において、  
「事業を実施したことによって、すなわち、個人の能力や意欲に応じた学習  
機会の提供によって、住民の日常生活を豊かで潤いのあるものとした成果(ア  
ウトカム)を産出するものとして評価指標の設定を検討して欲しい」ことや、  
「満足度においても質に注目」し、「例えば、講座の目標・内容に対応して、  
単なる知識・理解の増加にとどまらず、関心・意欲・態度の転換・増進、思  
考・判断の深化や進化などのポイントが考えられないだろうか」と指摘した。  
それを受けて、平成 22 年度「講座参加者の満足度調査」にかえて「講座参加  
者の関心・意欲・態度の増進調査」の結果を評価指標とし、目標値を超える  
成果を得て「目標は十分達成できた」との自己評価は妥当と評価できる。ま  
た、申込人数が定員に達しなくて中止となる講座が、計画 54 講座中 11 講座  
存在している。学習ニーズとのミスマッチや広報の不足などが考えられるの  
で、改善策に示されているように講座企画の精緻化を図っていただきたい。

そのために住民参加型の講座運営についても検討して欲しい。

また、「生涯学習環境、生涯学習推進体制の充実・図書館の活用の増進」に  
おいても、平成 22 年度に引き続き、取組の充実による量的整備や取組・方策  
の充実が窺われ、貸出利用者数の増加率を評価指標にして「目標は達成され

た」との自己評価結果である。「図書館の活用の充実」のアウトプットとしての増加率のためだけでなく、今後においても、「親しみやすい図書館」の質的整備の充実に一層努めていただきたい。その点で、昨年の「例えば、生涯学習の入り口に立つ幼児・児童・生徒への図書館サービスの充実に、町内の保育所・保育園・小学校・中学校との連携に引き続き取り組んでいただきたい」との指摘に応え、乳児向け・幼児向けの「としょかんだより」の配布を開始するなど、質的整備に努めている点は評価できる。今後においても、より一層「図書館の活用の充実」を図り、その成果（アウトカム）として何を求めるのか町民に提示していただきたい。また、明るい図書館の雰囲気作りに貢献している展示コーナーについては引き続き充実させていただきたい。なお、図書館の活動が図書館に留まるのではなく、「学習機会の提供」における「講座内容」と連携して図書館情報を提供するなど、生涯学習者へのサービスも考えられる。

「生涯スポーツの推進・生涯スポーツの普及」については、各種のスポーツ教室・スポーツ大会の開催だけでなく、各年齢層に応じた各種事業の推進や「ようよう坂町ウオーキング」の開催など、各種教室・大会参加者数を評価指標として、町制 60 周年記念事業を実施した平成 22 年度の実績値にも迫るほどであり、目標値を大幅に超えて「目標は十分達成できた」との自己評価結果は妥当と判断できる。今後においては、一歩進め、坂町町民にとって、生涯スポーツの推進・普及がどのような点において寄与するのか、アウトプットとしての参加者数から、生涯スポーツへの参加者の日常生活が健康で豊かな潤いのあるものとした成果（アウトカム）を産出するものとして評価指標の設定を検討して欲しい。例えば、意識調査が可能であれば、生涯スポーツ参加者の健康への自己管理意識の増進、スポーツへの関心・意欲・態度の転換・増進なども考えられるのではなからうか。

また、「地域文化の保存、継承・町史の編さん」では、編集作業予定の大幅変更もあり、「目標は全く達成できなかった」との自己評価である。計画通りの発刊を評価指標としたためであり、編集作業にあって膨大な聞き取り資料の存在が計画を遅延させたことに拘泥することのないようにして欲しい。これまでも指摘してきたように、「町史の編さん」の活用方法への視点、すなわち、地域文化の保存と継承を図る町史を町民の生涯学習の資源として豊かな財産と捉える視点に着目して、今後の事業展開に大いに期待したい。

以上、各項目に即して点検評価の結果に基づいて意見を述べた。最後に、報告書全般に関わって意見を述べ、今後期待したい点について指摘しておきたい。

平成 23 年度の自己評価にあたっては、平成 22 年度の自己評価以上に点検評価に至ったエビデンス（証拠）を示すことに努められ、その改善策を次年

度の計画に反映させて実施に移すなど、大きく進展している。また、いわゆるPDCAサイクルの実働に向け点検評価を通じて次にどのような手だてを打つのか、中期・短期の経営目標のもとに明確にするように努めており、説得力のある点検評価報告書となってきた。

今後もさらに、それらの点に尽力いただきたい。また、点検評価の結果が、町民における学校教育・生涯学習の充実のために、より一層の改革・改善につながるためにも、次の点について、昨年度に引き続き検討いただきたい。第一に、事業展開を通じて得られた成果として、アウトカム（取組を通じて、例えば、児童生徒の成長という目標を達成したという成果）を追求していただきたい。第二に、評価に至ったエビデンス（証拠）に掲げる数値目標として、成果指標（アウトカム）としての視点からの設定をより一層工夫していただきたい。勿論、数値目標に馴染まない目標もある。質的にどのように変容したのかを分析し、目標に対して有効な施策であったかを検証するように期待したい。

最後に、坂町独自の特色をもつ事業施策について点検評価し、町民に積極的にアピールすること、また、学校教育の充実については、設置者としての事業展開が学校現場による真摯な取組を通じて実現できることを踏まえ、設置者としての視点を明確にすることに努められて、財政的な裏付けを得ることができるよう、PDCAサイクルを実働させ、説得力のある点検評価報告書とすることを一層期待したい。

評価委員

広島大学大学院教育学研究科

教授 林 孝

## 教育委員会の活動状況及び活動概要

### 1 教育委員会の活動状況

#### (1) 教育委員会委員

職名	性別	備考
委員長	男	元教育関係者
委員長職務代理者	男	自営業
委員	女	自営業
委員	女	保護者
教育長	男	元行政関係者

#### (2) 教育委員会会議の開催状況

定例会 11回、臨時会 4回

#### (3) 教育委員会会議での審議状況

議決の状況

議案番号	議案名	議決日
4	平成22年度坂町教育委員会事務点検・評価報告書について	5月17日
5	平成23年度坂町教育委員会経営計画・平成23年度坂町教育委員会自己評価表について	5月17日
6	坂町立学校職員服務規程の一部改正について	6月21日
7	坂町立学校施設使用に関する規則の一部改正について	6月21日
8	平成24年度使用中学校教科用図書採択について	7月19日
9	坂町教育委員会事務局事務決裁規程の制定について	9月20日
10	坂町体育指導員に関する規則の全部改正について	9月20日
11	教育長に対する事務委任規則の一部改正について	9月20日
12	坂町教育委員会の事務局の組織に関する規則の一部改正について	9月20日
13	坂町文化財保護条例施行規則の一部改正について	9月20日
14	学校選択制の今後の方向性について	10月18日
15	坂町指定無形文化財の指定について	11月15日
16	坂町教育委員会委員長選挙について	12月9日
17	坂町立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部改正について	12月20日
18	坂町立小中学校校務決裁規程の制定について	12月20日
19	坂町立小中学校事務処理等規程の一部改正について	12月20日



1	平成 24 年度坂町教育行政方針について	2 月 14 日
2	平成 24 年度教職員人事について	3 月 13 日
3	坂町立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部改正について	3 月 13 日
4	坂町立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部改正について	3 月 13 日
5	コミュニティーホールさか管理運営規則の一部改正について	3 月 13 日
6	坂町留守家庭児童会設置条例施行規則の一部改正について	3 月 13 日
7	教育長の任命について	3 月 23 日

## 2 教育委員会活動の概要

### ( 1 ) 各種会議への出席

会議名	出席者	月 / 日	場所
平成 23 年度第 1 回広島県市町教育長会議	教育長	4 / 15	広島市
全国町村教育長会定期総会並びに研究大会	教育長	5/19 ~ 20	東京都
平成 23 年度第 1 回西部教育事務所管内教育長・部課長等会議	教育長	5 / 23	海田町
広島県女性教育委員グループ 総会並びに第 1 回研修会	委員	7 / 7	広島市
平成 23 年度第 1 回西部教育事務所管内教育長・部課長等会議	教育長	7 / 27	広島市
平成 23 年度中国 5 県教育長研究大会	教育長	8/18 ~ 19	山口市
安芸郡 4 町教育長会議	教育長	9 / 29	広島市
平成 23 年度市町教育委員会教育委員研修会	委員	11 / 25	広島市
平成 23 年度第 2 回広島県市町教育長会議	委員	1 / 26	広島市
広島県女性教育委員グループ 第 2 回研修会	委員	2 / 27	広島市

(2) 議案以外の報告・協議状況

月 日	定例会における報告・協議内容
4月19日	平成23年度第1回広島県市町教育長会議の報告 平成23年度教育行政方針について 坂町教育委員会事務局事務分掌について 平成22年度坂町教育委員会事務点検・評価報告書(案)について 平成23年度坂町教育委員会経営計画(案)について 「不祥事防止のための緊急アクション」の進捗状況について 坂町子ども読書活動計画について 各小中学校の状況について
4月28日	平成24年度使用中学校教科用図書の採択基本方針について
5月17日	学校選択制について 小学校外国語活動と中学校英語との円滑な接続について
6月21日	学校選択制について 平成23年度中国5県町村教育長研究大会の報告 6月議会定例会の報告 坂町教育委員会に対する事務委任規則の一部改正について 坂町特別支援教育就学援助費支給要綱及び坂町就学援助費支給要綱の一部改正について コミュニティーホールさかの建替工事について 坂雅正会の坂町指定文化財指定について 広島県西部教育事務所計画訪問の概要の報告 教育長ミーティングの概要報告について
7月19日	学校選択制について サマースクールについて 坂町教育委員会に対する事務委任規則の一部改正について 平成24年度管理職選考について 全国学力学習状況調査について ひろしま夏の芸術祭について 町内一斉夜間パトロールについて
9月20日	学校選択制について 平成23年度広島県「基礎・基本」定着状況調査について 9月坂町議会定例会の報告 坂町無形文化財指定に係る文化財保護委員会への諮問について 平成24年度広島県公立学校職員人事異動方針について

	平成 24 年度管理職選考（一次）結果について 福井県の小中学校への学力向上視察研修について
10 月 18 日	学校選択制について 指定校変更・区域外就学に係る取扱基準について 平成 23 年度広島県市町教育委員会教育委員研修会について 学校へ行く週間について 第 28 回坂町文化祭について 第 21 回坂町ベイマラソン大会について けんみん文化祭広島 '11「吟詠剣詩舞道の祭典」について 坂雅正会の坂町指定文化財指定について
11 月 15 日	学校選択制について 小中学校における敷地内禁煙について 地震・津波を想定した避難訓練について 中国新聞と坂町教育委員会との協定について 福井県学力向上視察研修の報告について 第 2 回教育長ミーティングの概要報告について
12 月 9 日	第 1 回悠々健康ウォーキング大会について
12 月 20 日	12 月坂町議会定例会の報告 小中学校の地震・津波災害避難訓練の実施状況について 町民交流センター（仮称）について 12 月議会定例会の報告 平成 24 年度坂町教育委員会教育教育委員会教育行政方針について
1 月 17 日	平成 23 年度第 2 回坂町の教育を考える会について 平成 24 年度坂町教育行政方針について 坂町立小・中学校の二学期制について 坂町指定文化財の指定の基準について
2 月 14 日	平成 23 年度第 2 回広島県市町教育長会議の報告 坂町指定文化財の指定の基準について （仮称）町民交流センターの進捗状況について
3 月 13 日	3 月坂町議会定例会の報告 平成 24 年度教育行政方針について 坂町指定文化財の指定の基準について
3 月 23 日	坂中学校卒業生の進路先について

( 3 ) 教育委員の学校訪問

訪問日	訪問先	内 容
5 月 17 日	坂中学校	学校長による学校経営方針について 授業参観及び意見交換

## 平成 23 年度 点検評価票

中期経営目標	道徳心の高揚
短期経営目標	道徳教育の充実を図る。

### 1 短期経営目標（具体）

道徳教育の要である道徳の時間の指導方法を工夫し、児童生徒の心に響く授業を展開することにより、道徳性の育成を図る。

### 2 取組・方策

#### （1）坂町道徳教育推進協議会（年間6回開催）

各小・中学校の担当校長及び道徳教育推進教師を対象に、授業研究、指導資料作成、研修報告等を行い、指導力の向上に努めた。

#### （2）自作資料による授業の実施（全小・中学校）

道徳の授業をする教員が、年間1本は、自作資料による授業を行うことで、指導力の向上を図った。

#### （3）道徳の授業公開（全小・中学校）

各小・中学校が道徳の授業を保護者・地域に積極的に公開し、学校・家庭・地域の連携による道徳教育の推進に努めた。

#### （4）道徳教育に関する児童生徒意識調査（年間2回実施）

全児童生徒を対象に道徳教育に関する意識調査を実施して、授業改善に努めた。

### 3 評価

評価指標	道徳の時間の児童生徒意識調査（道徳の時間の勉強が好き）
実績値（平成22年度）	77.3%
目標値（平成23年度）	83%
総合評価	B

#### 「道徳の時間の勉強は好きだ」と肯定的に回答した児童・生徒の割合

	小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年	全体
7月実施	89.6%	75.2%	76.9%	82.7%	79.8%	81.6%	80.3%
2月実施	87.4%	77.4%	83.7%	87.1%	85.3%	82.3%	83.7%

全体（2月実施）では目標を達成することができた。しかし、小学校5年の値が低いことが課題であり、分析が必要である。

### 4 改善策

新規で、「礼節」を重点化した道徳教育を推進する。

坂町道徳教育推進協議会において、特定学年の値が低いことに対する原因を探り、授業実践に生かす。

## 平成 23 年度 点検評価票

中期経営目標	教育環境整備の推進
短期経営目標	学校施設の耐震化等を推進する。

### 1 短期経営目標（具体）

学校施設の耐震化を推進するとともに、耐震化に併せた校舎等の改修及び小学校における太陽光発電設備の整備を実施する。

### 2 取組・方策

<p>整備内容</p> <p>（小屋浦小学校） 耐震基準をクリアしており、耐震補強は不要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校舎内部・外壁の改修</li> <li>・ 屋内運動場内部の改修</li> <li>・ 太陽光発電設備の設置（20kw）</li> </ul> <p>（坂中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校舎の耐震補強及び内部・外部の改修</li> <li>・ 屋内運動場内部・外部の改修</li> </ul>
---

### 3 評価

評価指標	耐震補強他工事の実施済校の割合
実績値（平成 22 年度）	50%
目標値（平成 23 年度）	100%
総合評価	A

坂町立小・中学校 4 校のうち、平成 22 年度までに実施した坂小学校及び横浜小学校の整備に引き続き、平成 23 年度においては、小屋浦小学校及び坂中学校の整備が完了し、耐震補強他工事の実施校の割合が 100%となった。

### 4 改善策

学校施設の適切な維持管理に努める。

今年度で小学校 3 校への太陽光発電システムの導入が完了した。昨年度から実施している小学校での環境教育をさらに充実させるとともに、中学校においても発展的に取り組む。

## 平成23年度 点検評価票

中期経営目標	教育活動の充実
短期経営目標	確かな学力の向上を図る。

### 1 短期経営目標（具体）

各種学力調査の結果を分析し、指導内容や指導方法等の改善に生かし、児童生徒が分かる授業を行うことで、確かな学力の向上を図る。

### 2 取組・方策

#### （1）学力調査の実施

各種学力調査を行い、結果を分析し、授業改善に生かした。

広島県「基礎・基本」定着状況調査（6月14日実施、対象：小学校5年の国・算、中学校2年の国・数・英）

全国学力・学習状況調査（10月3日全校希望実施、対象：小学校6年の国・算、中学校3年の国・数）

坂町標準学力調査（坂小学校・横浜小学校1月25日、小屋浦小学校1月27日、坂中学校4月8日・11日、対象：全学年 小学校 国・算、中学校 国・社・数・理・英）

#### （2）小・中学校への非常勤講師（町費）の配置

小・中学校へ非常勤講師を配置し、基礎学力の向上に努めた。

・小屋浦小学校 対象学年2年、4年、5年、6年 算数 TT（800）時間

・中学校 英語（704）時間 ・数学（264）時間 ・理科（748）時間

#### （3）小学校において習熟度別学習、指導方法の工夫改善及び少人数指導などを実施

小6少人数指導（県費）

・坂小学校（986）時間 ・横浜小学校（974）時間

指導方法工夫改善（県費）

・横浜小学校 対象学年3年、4年、5年 実施時間：（829）時間/年間

#### （4）学力向上に関する先進地視察研修の実施

・視察先：福井県（坂井市、永平寺町） 視察日：10月20～21日 各校2名参加

### 3 評価

評価指標	広島県「基礎・基本」定着状況調査
実績値（平成22年度）	小中とも、県平均を上回った。
目標値（平成23年度）	県平均を3ポイント上回る。
総合評価	C

#### 平成23年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果（広島県教育委員会）

学年	国語	算数・数学	英語
小学校5年	81.1（+2.6）	79.6（+1.8）	
中学校2年	73.1（-0.1）	82.7（+8.0）	79.7（+7.8）

（ ）は広島県平均との比較

3ポイント上回った教科は中学校数学と英語のみであった。中学校国語は県平均を下回った。

### 4 改善策

全校で礼節を重点化した道徳教育を推進し、学ぶ姿勢の礎を築く。

小中とも、作成した「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の定着を図る。

教頭・教務主任研修（坂町学力推進協議会）を充実させる。

小学校で、帯タイム学習を充実させ、学期末確認テストを実施する。

平成23年度 点検評価票

中期経営目標	教育活動の充実
短期経営目標	不登校対策を充実する。

1 短期経営目標（具体）

生徒指導主事を中心とした生徒指導体制を整え、児童生徒理解を深め、不登校児童生徒を減少させる。

2 取組・方策

- (1) 坂町生徒指導連絡協議会（毎月1回、計10回）  
各小・中学校の生徒指導主事を対象に、授業観察・情報交流等を行い、生徒指導方針を共通理解することにより、生徒指導体制の確立に努めた。
- (2) 児童生徒の欠席状況調査（月1回）  
児童生徒の欠席状況を把握し、欠席日数が多い児童生徒に対して、早期対応を行うことにより未然防止に努めた。
- (3) 指導主事による学校訪問指導（各校平均、月2～3回）  
各学校の実態に合わせ、指導主事が各校を訪問し、児童生徒への指導や、保護者、関係機関との連携状況等に指導・助言を行う。

3 評価

評価指標	不登校児童生徒数の割合
実績値（平成22年度）	小学校0%〔県平均0.38%〕、中学校1.5%〔県平均2.85%〕
目標値（平成23年度）	小学校0%、中学校1.5%
総合評価	D

平成23年度不登校児童生徒（児童787名、生徒331名のうち）

	不登校児童生徒数	割合
小学校	3人	0.38%
中学校	18人	5.44%

4 改善策

生徒指導主事を中心とする学校体制（生徒指導体制）として取り組む。  
相談体制を充実させるとともに、担任等が本人及び保護者との連絡を緊密に行うこと等により不登校児童生徒の実態把握を確実にを行う。  
生徒指導の三機能を生かした授業づくり等の積極的生徒指導により未然防止を図る。  
スクールカウンセラーの活用や専門機関との連携を強化する。



平成23年度 点検評価票

中期経営目標	国際理解教育の推進
短期経営目標	外国語活動の充実を図る。

1 短期経営目標（具体）

英語に堪能な日本人講師を活用し、外国語に対する児童の関心・意欲を高める。

2 取組・方策

（1）坂町外国語活動研修会（年間4回開催）

小学校から中学校への外国語の円滑な移行及び指導者の指導力向上のため、各小学校の外国語活動担当教師及び中学校の外国語担当教師を対象に授業研究・講話等を内容とする研修会を定期的実施した。

（2）日本人講師と担任による外国語活動の実施（年間35時間/学年）

小学校5・6年の外国語活動の授業を、英語に堪能な日本人講師（町費非常勤講師）と担任によるT・Tで実施し、コミュニケーション能力の素地を養った。

（3）外国語活動に関する児童意識調査（年間2回実施）

小学校5・6年生を対象に外国語活動に関する意識調査を実施し、授業改善に努めた。

3 評価

評価指標	外国語活動に関する児童意識調査（外国語活動の時間が好き）
実績値（平成22年度）	87.7%（10月） 84.4%（2月）
目標値（平成23年度）	85%
総合評価	A

「外国語活動の授業が好きだ」と肯定的に回答した児童の割合

	小学校5年生	小学校6年生	全体
7月実施	98.4%	94.4%	96.6%
2月実施	98.6%	95.5%	97.2%

4 改善策

中学校外国語において、ALTを配置し、T・Tの授業ができるようにする。  
 外国語活動担当教師の指導力向上のための研修（外国語活動研修）を更に充実させる。  
 視聴覚機器を活用し、児童の興味・関心を高める。

## 平成 23 年度 点検評価票

中期経営目標	生涯学習の推進
短期経営目標	学習機会の提供に努める

### 1 短期経営目標（具体）

講座内容が固定化しないように、現代的課題も組み入れ、住民が参加しやすい講座を開催する。開催講座の情報を発信し住民への周知を図る。

### 2 取組・方策

#### （1）開催講座の実施状況

##### ・成人対象講座

54 講座を計画（うち 11 講座は申込人数が定員に達しなかったため中止）

##### ・家庭対象講座（12 講座計画・）

すくすく学級 計 13 回開催（439 名参加）

#### （2）学習機会の情報発信

開催講座の情報を坂町広報誌、ホームページに掲載し、ポスター、チラシを各ふれあいセンターや公民館に掲示した。

町内で開催されるイベント会場等でも啓発した。

#### （3）自主グループ設立に対する支援

今年度 2 つの自主グループが設立された。

### 3 評価

評価指標	講座参加者の関心・意欲・態度の増進調査
実績値（平成 22 年度）	-
目標値（平成 23 年度）	70%
総合評価	A

アンケートにおける評価指標項目に関する調査結果は、「とても高まった」及び「高まった」と回答した参加者が 77.2%であった。

講座への参加申込が定員に達しなかったため、中止となった講座が 11 講座あった。来年度の講座の企画内容等について再検討し修正を図りたい。

### 4 改善策

講座企画にあたっては、開催時期、時間等の検討、ネーミングの工夫を行うと共に、他市町講座の情報収集に努め、講座内容について精査する。特に、中止となる講座がないように検討する。

職員が学習プログラム開発に関する知識を習得できるよう、研修会等へ積極的に参加する。

## 平成 23 年度 点検評価票

中期経営目標	生涯学習環境、生涯学習推進体制の充実
短期経営目標	図書館の活用の増進に努める。

### 1 短期経営目標（具体）

誰もが気軽に利用できるよう利用者に応じた図書館サービスに努め、図書館の活用の推進を図る。

### 2 取組・方策

地域の子どもに本への興味・関心を持ってもらい本を身近に感じるため、「坂町子ども読書活動推進計画」に基づき、次の活動を行った。

- (1) 図書館こどもまつりを開催し、読み聞かせボランティアや職員による絵本の読み聞かせ、工作コーナー、おりがみ体験、絵本クイズを実施するとともに、親しみやすい図書館の雰囲気づくりのため、施設に図書館こどもまつり用の飾付けを行った。
- (2) 図書等の購入については、司書を中心に計画的に行った。  
平成 24 年 3 月末現在蔵書数等  
一般書 35,787 冊(1,210 冊)、児童書 17,965 冊(1,198 冊)、視聴覚資料 1,759 点(32 点)  
( ) は今年度購入冊数等
- (3) 町内の各小学校、中学校及び高等学校に「図書館便り」を継続して配信した。
- (4) 新たに、乳児向け・幼児向けの「としょかんだより」「おひざにだっこ」「これよんで」を発行し、子育てオープンスペース、子育て支援センター、保健センター、保育所等での配布を開始した。
- (5) 読書ボランティアによる読みきかせを 21 回開催し、313 人の参加があった。
- (6) 図書に関する展示コーナーの展示内容を定期的に更新し、親しみやく明るい図書館の雰囲気作りを行った。
- (7) 図書館利用講座を、平成 24 年 3 月 4 日（日）に開催し、22 名の参加を得た。
- (8) 自由本棚を各ふれあいセンターなどに設置した。

### 3 評価

評価指標	図書等貸出利用者数
実績値(平成 22 年度)	19,676 人
目標値(平成 23 年度)	19,970 人
総合評価	B

図書等貸出利用者数は、20,240 人であった。  
図書等貸出件数についても、7 月以降は微増ながら増加傾向に転向した。  
図書館カード登録者数は、坂町内において 37.0% となり、平成 22 年度の 34.9% から伸びている。

### 4 改善策

図書カードの登録について広報誌やイベントなどでの啓発を行う。  
図書館に親しむことを目的として、図書館利用講座を継続して開催する。  
各ふれあいセンターなどに設置した自由本棚について、広報誌などでの啓発を行う。

平成23年度 点検評価票

中期経営目標	生涯スポーツの推進
短期経営目標	生涯スポーツの普及に努める。

1 短期経営目標（具体）

町民誰もがスポーツ活動を楽しめる場や機会の充実を図る。

2 取組・方策

<p>(1) 各種教室・大会を様々な方法で情報発信した。          坂町広報誌への掲載 ・町内体育大会（10月）体操教室（5月から10月）水泳教室（6月）の開催記載          ・町内体育大会（10月）体育協会各競技部の大会等各種大会結果掲載          チラシの配付 ・体操教室、水泳教室の案内を保育所（園）小学校を通じ配付          ・町内各施設にて「ようよう坂町ウォーキング」のチラシ配付          住民協への案内 ・町民会議球技大会、コミュニティスポーツ大会案内</p> <p>(2) 各年齢層に応じた各種事業を推進した。          幼児対象 ・親子ふれあい体操教室・幼児体操教室          小学生対象 ・1年生水泳教室・2、3年生水泳教室・スポーツキッズフェスティバル          小中学生対象 ・シンクロナイズドスイミング教室          全町民対象 ・町内体育大会・町民会議球技大会</p> <p>(3) ようよう坂町ウォーキングを開催した。（産学官民連携実施）          5月16日 坂・植田周遊ウォーク（坂 上条 植田 坂コース）          6月5日 ベイサイドビーチ見学ウォーク（ウォークベイサイド遊歩道コース）          7月9日 ナイトウォーク（森山ジョギングコース）          12月18日 坂町横断ウォーク（小屋浦駅 中国自然歩道 坂駅）</p> <p>(4) 坂町スポーツ推進委員及び坂町体育協会等の協力のもと、各種行事を開催した。          町内体育大会（10月2日）スポーツキッズフェスティバル（12月11日）          町民会議球技大会（9月18日）          町内駅伝競走大会・コミュニティスポーツ大会（3月18日）</p>
---

3 評価

評価指標	各種教室・大会参加者数
実績値（平成22年度）	2,390人
目標値（平成23年度）	1,900人（3%増）
総合評価	A

各種教室・大会参加者数は2,361人であった。  
 昨年度は町制施行60周年記念事業により2,390人と多数の参加者数であり、今年度は大幅な減少が考えられたが、各種教室並びに町民会議球技大会の参加者が増えたことにより、目標値を達成することができた。  
 町内駅伝競走大会の中学生の部が減少しているが、一般の部で会社等に案内したところ4チーム増加し、大変盛り上がった。

4 改善策

<p>町内駅伝競走大会での中学生の参加について、部活動の試合等の兼ね合いも考慮しながら、中学生の部で積極的に参加するよう依頼する。          町内企業にも大会開催の広報を強化し参加者増に努める。</p>
---

## 平成 23 年度 点検評価表

中期経営目標	地域文化の保存、継承
短期経営目標	町史の編さんに取り組む。

### 1 短期経営目標（具体）

「生活文化編」「通史（現代）・地理編」及び「通史（考古～近代）編」を発刊する。

### 2 取組・方策

#### （1）「生活文化編」について

【本編】 6章 25項 250頁構成予定

各項目について、町史刊行委員等に内容確認依頼。

より良い物にするために執筆者へ修正を依頼し、現在修正中。

（修正した項目から随時再度町史刊行委員等に確認依頼予定）

作業内容：編集作業、内容確認、不適切用語のチェック、

外部への内容確認依頼・回収、写真選定

【資料編】 聞き取り原稿 400頁 39組掲載 校正 5校中 4校済

作業内容：内容確認、不適切用語のチェック、校正作業、写真選定

#### （2）「通史（現代）・地理編」について

平成 23 年度発刊（7章構成 370頁）

#### （3）「通史（考古～近代）編」について

【本編】 考古 50頁、古代・中世 50頁、近世・近代 150頁

考古、近世・近代入稿済 編集作業中

【史料編】 古代・中世 50頁、近世・近代 200頁

入稿、編集作業を終え、現在校正作業中

作業内容：史料収集、史料整理、史料選別、史料確認、編集作業、校正作業

### 3 評価

評価指標	町史の発刊計画
実績値（平成 22 年度）	「生活文化編」「通史（現代）・地理編」とも発刊できなかった。
目標値（平成 23 年度）	「生活文化編」「通史（現代）・地理編」及び「通史（考古～近代）編」を発刊する。
総合評価	D
「通史（現代）・地理編」のみの発刊となった。	

### 4 改善策

編別の行程表を再作成し、執筆及び校正作業の進捗状況について、執筆者、出版社と定期的に確認をとる。

## ミッション

坂町第 4 次長期総合計画、平成 23 年度町長施政方針及び平成 23 年度教育行政方針等により、教育行政を推進する。

## ビジョン

## 【町民像】

学校教育では、坂町の将来を担う子ども一人ひとりが、「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を身につける。

生涯学習では、子どもから大人まで町民一人ひとりが、自らの個性や能力を最大限に発揮し夢や希望・生きがいを持つ。

## 【教育委員会像】

報告・連絡・相談による組織的な対応を目指す。

すばやい対応を目指す。

コンプライアンス（法令と倫理の遵守）に基づく公教育を推進する。

P D C A のマネジメントサイクルによる業務遂行を目指す。

## 現状分析

## 【学校教育】

生きる力の基盤として、道徳性の育成に、学校・家庭・地域が一体となり取り組んでいる。児童生徒の安全確保及び地域住民の避難場所確保のため、学校施設の耐震化等の推進は喫緊の課題であり、昨年度は、4 校中、2 校の整備が完了した。

広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率において、一昨年度は小学校が県平均を下回っていたが、昨年度は小・中学校とも県平均を上回った。

不登校児童生徒の割合において、一昨年度は中学校が県平均より高かったが、昨年度は小・中学校とも県平均より低くなった。

小学校の新学習指導要領開始年度に当たり、引き続き、外国語活動の指導方法を充実する必要がある。

## 【生涯学習】

学習機会の提供にもかかわらず、講座への参加申込者数が定数に達しなかったため、中止となった講座が 10 講座あった。

図書等貸出利用者数は、昨年度、微増したが、依然として横ばい状態である。

生涯スポーツの各種教室・大会への参加者数は、昨年度、大幅に増加したが、これは、町制施行 60 周年記念事業によるものと考えられる。

町史編さんにおいて、「生活文化編」「通史（現代）・地理編」が発刊できなかった。

目標及び取組

	中期経営目標 (第4次長期総合計画)		短期経営目標 (平成23年度 教育行政方針)	具体的な取組・方策
学校教育	道徳心の 高揚	道徳心の高揚	道徳教育の充実 を図る。	指導の工夫により、児童生徒の心に響く道徳の時間を展開する。
	教育環境 の充実	教育環境整備の 推進	学校施設の耐震 化等を推進する。	残る2校について、学校施設の耐震化を推進するとともに、耐震化に併せた校舎等の改修及び小学校における太陽光発電設備の整備を実施する。
		教育活動の充実	確かな学力の向 上を図る。	各種学力調査を行い、結果を分析し、授業改善に生かし、児童生徒が分かる授業を行う。
			不登校対策を充 実する。	生徒指導主事を中心とした生徒指導体制を整え、児童生徒理解を深める。
	国際理解教育の 推進	外国語活動の充 実を図る。	英語に堪能な日本人講師を活用し、T・Tにより児童の関心・意欲を高める外国語活動の授業を行う。	
生涯学習	生涯学習 ・スポー ツの振興	生涯学習の推進	学習機会の提供 に努める。	アンケートを実施し、講座の充実や精選に生かす。 各年齢層や多種多様な学習ニーズに応じた講座を開設する。 講座内容について様々な方法で情報発信する。
		生涯学習環境、 生涯学習推進体 制の充実	図書館の活用の 増進に努める。	図書館利用講座及びイベントを開催する。 図書館の活用について様々な方法で広く情報発信する。 図書等貸出利用者数が横ばい状態の原因分析を実施する。
		生涯スポーツの 推進	生涯スポーツの 普及に努める。	産学官民連携のウオーキングをはじめ、各年齢層に応じた各種事業を推進する。 各種教室・大会について様々な方法で情報発信する。 坂町体育指導委員及び坂町体育協会等の協力のもと、各種行事を開催する。
	文化活動 の振興	地域文化の保 存、継承	町史の編さんに 取り組む。	進捗状況を定期的に確認し、「生活文化編」「通史(現代)・地理編」「通史(考古～近代)編」を発刊する。

## 平成 23 年度坂町教育委員会 自己評価表

	中期経営目標 (第 4 次長期総合計画)		短期経営目標 (平成 23 年度教育行政方針)	評価項目	評価指標	実績値			目標値			評価 (自己評価の結果)	改善策
						平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度		
学校教育	道徳心の高揚	道徳心の高揚	道徳教育の充実を図る。	指導の工夫により、児童生徒の心に響く道徳の時間を展開する。	道徳の時間の児童生徒意識調査(道徳の時間が好き)	77.3%	83%	85%	B	80.3%(7月) 83.7%(2月)	・分析結果の共通理解等		
	教育環境の充実	教育環境整備の推進	学校施設の耐震化等を推進する。	残る 2 校について、学校施設の耐震化を推進するとともに、耐震化に併せた校舎等の改修及び小学校における太陽光発電設備の整備を実施する。	耐震補強他工事の実施済校の割合	50%	100%	-	A	100%	・学校施設の適切な維持管理		
		教育活動の充実	確かな学力の向上を図る。	各種学力調査を行い、結果を分析し、授業改善に生かし、児童生徒が分かる授業を行う。	広島県「基礎・基本」定着状況調査	小中とも、県平均を上回った。	県平均を 3 ポイント上回る。	県平均を 5 ポイント上回る。	C	3 ポイント上回ったのは中学校数学と英語。県平均を下回った教科もあった。	・礼節を重点化した道徳教育の推進 ・「家庭学習の手引き」による家庭学習の定着等		
			不登校対策を充実する。	生徒指導主事を中心とした生徒指導体制を整え、児童生徒理解を深める。	不登校児童生徒数の割合	(小) 0%	0%	0%	D	(小) 0.38%	・生徒指導主事を中心とする学校体制の確立 ・本人・保護者との連絡による確実な実態把握等		
		国際理解教育の推進	外国語活動の充実を図る。	英語に堪能な日本人講師を活用し、T・Tにより児童の関心・意欲を高める外国語活動の授業を行う。	外国語活動の児童意識調査(外国語活動の時間が好き)	84.4%	85%	90%		A	96.6%(7月) 97.2%(2月)	・外国語活動研修の更なる充実等	
生涯学習	生涯学習の推進	学習機会の提供に努める。	アンケートを実施し、講座の充実や精選に生かす。 各年齢層や多種多様な学習ニーズに応じた講座を開講する。 講座内容について様々な方法で情報発信する。	講座参加者の関心・意欲・態度の増進調査	-	70%	75%	A	77.2%	・講座の開催時期、時間、ネーミング、内容等の精査 ・職員の研修会等への参加等			
	生涯学習・スポーツの振興	生涯学習環境、生涯学習推進体制の充実	図書館の活用の増進に努める。	図書館利用講座及びイベントを開催する。 図書館の活用について様々な方法で広く情報発信する。 図書等貸出利用者数が横ばい状態の原因分析を実施する。	図書等貸出利用者数	19,676 人	19,970 人 (H21 比 3%増)	20,160 人 (H21 比 4%増)	B	20,240 人	・図書カードの登録啓発 ・各ふれあいセンターに設置した自由本棚の啓発等		
		生涯スポーツの推進	生涯スポーツの普及に努める。	産学官民連携のウオーキングをはじめ、各年齢層に応じた各種事業を推進する。 各種教室・大会について様々な方法で情報発信する。 坂町体育指導委員及び坂町体育協会等の協力のもと、各種行事を開催する。	各種教室・大会参加者数	2,390 人 (町制施行 60 周年記念事業)	1,900 人 (H21 比 3%増)	1,920 人 (H21 比 4%増)	A	2,361 人	・町内駅伝競走大会での中学生の参加の依頼 ・町内企業への広報強化		
	文化活動の振興	地域文化の保存、継承	町史の編さんに取り組む。	進捗状況を定期的に確認し、「生活文化編」「通史(現代)・地理編」「通史(考古～近代)編」を発刊する。	町史の発刊計画	「生活文化編」「通史(現代)・地理編」を発刊できなかった。	「生活文化編」「通史(現代)・地理編」「通史(考古～近代)編」の発刊	-	D	「通史(現代)・地理編」のみの発刊	・執筆者、出版社と定期的に確認をとる。		